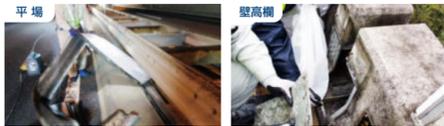


YKB-W工法の施工手順

STEP 1 既存の止水材を除去。
※ゴムシート、鉄板など様々な止水材があり、ボルトで固定されている場合、アンカーを切断する。



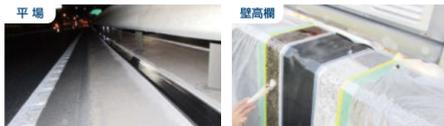
STEP 2 塗装するコンクリート面を研磨。
脆弱な部分は研り落とす。



STEP 3 テープ材 (KFシールテクトテープ200) を張り付け遊間を塞ぐ。
※遊間が広い場合やテープがたるむ場合はPP板を設置し平行になるように貼り付ける。



STEP 4 テープ材 (KFシールテクトテープ200) の端部に段差が生じるので補助テープで平滑にする。



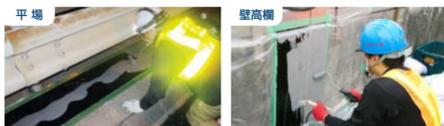
STEP 5 テープ材の両脇に下塗材 (KFウレタンプライマー50N またはKFシールテクトアンダーコートT) を塗布する。
※下地の巣穴が多い場合はKFシールテクトアンダーコートT推奨。



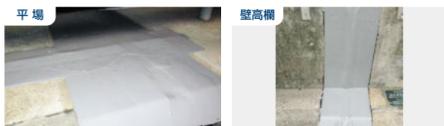
STEP 6 中塗材 (KFシールテクトミドルコート) を塗布する。
テープ材の端部は段差が生じやすく、中塗材が薄くならないように注意する。



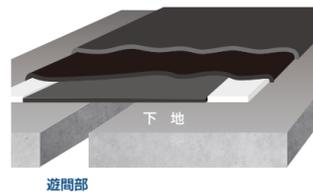
STEP 7 上塗材 (KFシールテクト33-3) を塗布する。



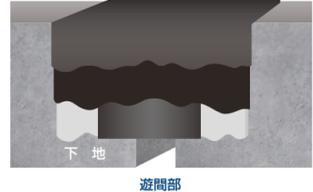
STEP 8 施工完了



平場部 イメージ図



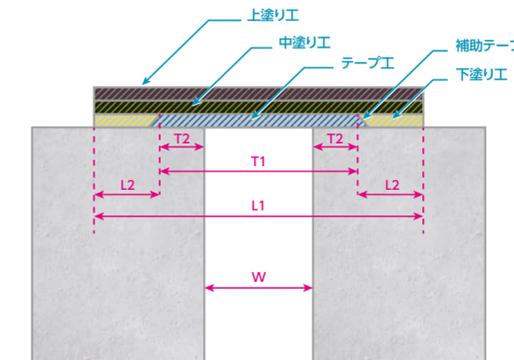
高欄部 イメージ図



KFシールテクト YKB-W工法 標準仕様 Standard Specification

工程	商品名	材料名	標準塗布量	塗装間隔
素地調整		・サンダーケレン、高圧水洗浄等で付着阻害要因となる汚れ等を除去、清掃して下さい。 ・必要に応じて下地欠損箇所等はポリマーセメント等で補修して下さい。 ・結露等により下地表面に付着した水滴等は除去し、乾燥したウエス等で取り除いてください。		
テープ工	KFシールテクトテープ200	片面プテリ付きゴムテープ	—	—
下塗り工	KFウレタンプライマー50N	1液湿気硬化型ウレタン塗料	0.15kg/m ²	
	KFシールテクトアンダーコートT	3成分水性エポキシ塗料	0.35kg/m ²	0.5~8時間
中塗り工	KFシールテクトミドルコート	2液反応硬化型ポリウレタ樹脂	0.8kg/m ²	1~72時間
上塗り工	KFシールテクト33-3	2液反応硬化型高耐候性ゴム塗料	0.5kg/m ²	

断面図



※T2は50mm以上確保する

【標準規格値】※単位(mm)

W 遊間幅	T1 テープ幅	T2 テープしろ	L2 塗装しろ
0~10	50	25~20	50
0~100	200	100~50	100
101~200	300	100~50	100
201~300	400	100~50	100

W=150以上はKFシールテクトテープ200のたるみ防止のためPP板を使用する
W=301以上はKFシールテクトテープ200を横貼りにして施工する

施工条件

- ⚠ 気温5°C以上・湿度85%以下の環境で作業すること。
- ⚠ 施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと。
- ⚠ 施工面の補修歴が施工に支障のない下地であること。
- ⚠ 施工面が雨水等で濡れていないことを確認すること。(下地含水率10%以下)
- ⚠ 施工面を十分に清掃し、付着阻害要因となる異物等を除去すること。
- ⚠ 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

■ 本 社 (土木・建築事業部)
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング9F
TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023
<http://www.k-fine.co.jp/>

特約店

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

遊間目地止水工法

KFシールテクト

YKB-W工法



Merit of KF Sealtect YKB-W Method

KFシールテクト YKB-W工法のメリット

1day

YKB-W工法の特徴

※ 施工時の時季や温度によって乾燥時間・塗料間隔は変動するのでご注意ください。

3層気密構造 3LAYERS AIR TIGHTNESS

3つの止水層で高い止水機能を発揮します。

オール手塗り工法 ALL HAND COATING

ローラーや刷毛で施工可能です。特殊機械、設備が不要で手塗りのため材料飛散が少ないです。

交通規制の期間短縮 PERIOD SHORTENING

速硬化型塗料により、塗装間隔が短く1日で完工することができ、即日規制開放が可能です。

バックアップ材不要 SAFETY

バックアップ材が不要なため、従来工法のような老朽化による脱落・落下の恐れがありません。

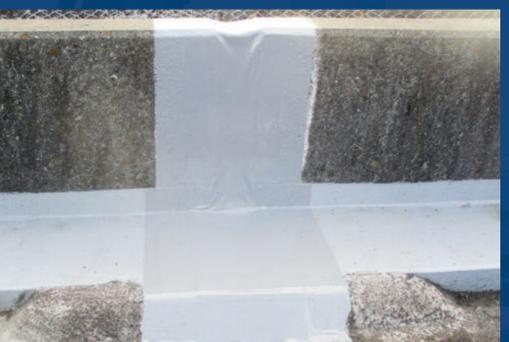
伸縮性 ELASTICITY

専用プライマーにより高い付着力を保持します。伸び性能は300%以上を有しており、下地の動きに追従します。

高耐久性 HIGH DURABILITY

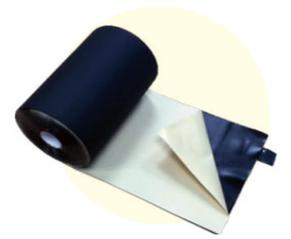
高耐候性ゴム塗料を塗布することにより、ゴム弾性を長期間保持し耐久性に優れます。

塗膜の特徴



YKB-W工法に用いる材料 Materials

片面ブチル付きゴムテープ KFシールテクトテープ200



下地と強固に付着し、伸張性も有するテープ材

荷姿 W50mm×10m/巻、W200mm×10m/巻 ※W300、400にも対応可能です。

KFシールテクトテープ200の特長

- FEA TURE 1 粘着性に優れる
- FEA TURE 2 加工が容易で複雑な形状にも施工可能
- FEA TURE 3 伸張性が高く挙動に追従する

1液湿気硬化型ウレタン塗料 KFウレタンプライマー50N



下地と中塗材を強固に付着させる下塗材

荷姿 1kg/缶 標準塗布量 0.15kg/m²

KFウレタンプライマー50Nの特長

- FEA TURE 1 1液タイプで混合の必要がない
- FEA TURE 2 乾燥時間が短い

KFウレタンプライマー50Nの乾燥性

塗料温度	指触乾燥 (代表値)	硬化乾燥 (代表値)
5℃	3時間	8時間
23℃	1時間	2時間
35℃	0.5時間	1時間

使用上の注意

- ⚠ 使用後は必ず密閉し水分混入の内容に保管してください。
- ⚠ 使用した器具類は直ちにシンナー洗浄してください。
- ⚠ 放置すると硬化し洗浄が困難になります。

2液反応速硬化型ポリウレア塗料 KFシールテクトミドルコート



強靱な塗膜を形成し外力からの耐久性を向上させる

荷姿 6.4kg/セット(主材3.2kg、硬化剤3.2kg) 標準塗布量 0.8kg/m²

KFシールテクトミドルコートの特長

- FEA TURE 1 耐衝撃性の高い塗膜を形成する
- FEA TURE 2 レベリング性が高く平滑な仕上がりとなる
- FEA TURE 3 伸張性が高く挙動に追従する

KFシールテクトミドルコートの乾燥性

塗料温度	指触乾燥 (代表値)	硬化乾燥 (代表値)
5℃	1時間	3時間
23℃	30分	1.5時間
35℃	10分	1時間

使用上の注意

- ⚠ 可使用時間が10分程度と短い為、使用時の主剤、硬化剤の混合量は施工面積を考慮して混合してください。

2液反応硬化型高耐候性ゴム塗料 KFシールテクト33-3



高耐候性の上塗材

荷姿 7.5kg/セット(主材6.5kg、硬化剤1kg) 標準塗布量 0.5kg/m²

KFシールテクト33-3の特長

- FEA TURE 1 紫外線劣化しにくく長期に塗膜の機能を維持する
- FEA TURE 2 自己修復機能を有し多少の傷は回復する
- FEA TURE 3 伸張性が高く挙動に追従する

KFシールテクト33-3の乾燥性

塗料温度	指触乾燥 (代表値)	硬化乾燥 (代表値)
5℃	5時間	18時間
23℃	2時間	10時間
35℃	1時間	4時間

性能

試験項目	判定	試験方法	
塗膜の健全性	標準養生後	正常	
	促進耐候性試験後	正常	
	温冷繰り返し試験後	正常	
	耐アルカリ性試験後	正常	
	耐湿試験後	正常	
コンクリートとの付着性	標準養生後	1.9N/mm ²	
	促進耐候性試験後	2.7N/mm ²	
	温冷繰り返し試験後	1.7N/mm ²	
	耐アルカリ性試験後	2.2N/mm ²	
しゃ塩性	合格	中日本 西日本 東日本 高速道路構 [構造物施工管理要領]- コンクリートの表面保護	
酸素透過阻止性	合格		
水蒸気透過阻止性	合格		
中性化阻止性	合格		
ひび割れ追従性	標準養生後(常温時)		10.8mm
	標準養生後(低温時)		5.1mm
	促進耐候性後(常温時)		8.0mm
耐疲労性	異常なし		
透水性	合格		JIS A 6909 建築仕上げ材
伸張性(複合塗膜)	374%		自社試験

KF Sealtect YKB-W Method